

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

代表質問

市民参加予算について

稲垣 昭義 議員
(新政みえ/四日市市選出)



問

知事の政策集にフラン
ス・パリ市などで行われて
いる「参加型予算」の導入を検討
する旨の記載がありました。これ
まで、三重県でも、予算編成過程
のインターネットでの公開などは
行われてきましたが、政策集に書
かれているのは、「市民参加予算」
と書かれているものであり、日本
ではまだ実例がありません。

ぜひ三重県で、全国で初めての
「市民参加予算」を実現してい
た
だきたいと考えます。知事の決意
をお聞かせください。

答

県が検討している「参加
型予算」は、県民の皆さん
との協創による予算を作り上げる
観点から、県が実施する事業の構
築に県民の皆さんの新たな発想や
身近な問題意識を取り入れ、事業
の質の向上や限られた資源の有効
活用を図るとともに、県民の皆さん
が県予算に興味を持っていただ
くことをめざすものです。令和2
年度の当初
予算編成か
らの導入を
検討してお
り、多くの皆
さんに関心
をもってい
ただ
けるよう工
夫してい
きたい
と思
います。



その他の質問事項
○川崎市多摩区での痛ましい事件
について
○スマート自治体の
取り組みについて
ほか



▲代表質問
(稲垣昭義 議員)

「子どもを虐待から守る条例」の改正を

中森 博文 議員
(自由民主党県議団/
名張市選出)



問

平成16年、「子どもを虐待
から守る条例」が、全国で
初めて議員提案条例として制定さ
れました。その後、国においては
児童虐待の根絶に向けて、児童相
談所の体制拡充や関係法律の整備
が行われて
います。三
重県にお
いても、こ
の
4月に鈴鹿・
亀山地域を
担当する児
童相談所が新設されました。そのよ
うな中、県では本年度、「子どもを
虐待から守る条例」の改正を予定さ
れていますが、改正に当たっての知
事の思いと見直しの考えをお聞か
せください。



答

見直しに当たっては、これ
までの取り組みの進展や成
果を検証して必要な事項を書き込む
とともに、子どもや虐待に関する法
改正への対応を確実に行うこととし
ています。今回の改正は、児童虐待
防止に向け、三重県議会が強い思い
を込めて制定された議員提案条例の
改正であることをしっかりと踏まえ、
子どもを社会全体で見守る、虐待は
絶対に許さない、という強いメッ
セージを発信していけるような取り
組みにまいります。

その他の質問事項
○南海トラフ地震
臨時情報
○幼児教育・保育無
償化 ほか



▲代表質問
(中森博文 議員)

リニア中央新幹線の早期全線開業に向けて

長田 隆尚 議員
(草莽/亀山市選出)



問

三重県の平成31年度当初
予算のポイントには、「三
重・奈良・大阪ルートおよび県内
駅位置の早期確定や東京・大阪間
の早期全線開業に向け、関係府県
市、経済団体等と連携しながら、
JR東海のリニア事業に協力する
とともに、県内の気運醸成を図る」
と書かれています。しかし、県が
行った令和元年5月の国への提
言・提案は、昨年11月の国への要
望からあま
り進展がみ
られません。
県内の気運
をどのように
醸成していく
のか、知事
の意気込み
をお聞かせ
ください。



三府県によるリニア啓発看板(東京メトロ霞ヶ関駅構内)

答

昨年度から本年度にか
け、リニア中央新幹線の開
業による時間短縮効果や、観光な
どさまざまな分野に及ぼす効果な
どについて、調査を実施しており、
その効果を分かりやすく県民の皆
さんにお示しすることで、全線開
業に向けた県全体の気運醸成を
図っていきたいと考えています。
今後、令和という新時代に、県民
の皆さんに夢と希望を持っていた
だけのように、一日も早いリニア全
線開業の実現に向け全力で取り組
んでいきます。

その他の質問事項
○「親往知来」防災・減災パッケ
ジについて
○交通安全対策に
ついて ほか



▲代表質問
(長田隆尚 議員)

豊かな海の再生へ向けて

村林 聡 議員
(自民党/度会郡選出)



問

海は、きれいなだけでな
く豊かでなければならぬ
として、県が「きれいで豊かな海」
を目指していただいていること
については、評価をしています。
環境生活部は、環境を保全する
ため、さまざまな行為を規制する
部であることは理解していますが、
規制だけでは「豊かな海」は実現
できません。「豊
かな海」を実現
するためには規
制のほかに何
が必要なのか、理
想の環境とはど
ういうものなの
か、考えをお聞
かせください。



答

豊かな海の再生には生物
多様性の確保が重要であ
り、③貧酸素水塊の発生により生
物が窒息しにくい環境になつて
いるなどの問題にも着目してい
ます。各種調査・研究を進め、知見
の蓄積を図るとともに、必要に
応じて、新たな指標の設定などを
国に働きかけてまいります。また、
陸域からの汚濁物質の流入を引き
続き適正に管理し、藻場・干潟の
保全・再生など、関係部が連携し
た総合的な水環境改善対策を進
めてまいります。

その他の質問事項
○仕事創出のあり方と次期行動計
画について
○道路冠水対策につ
いて ほか



▲代表質問
(村林 聡 議員)

一般質問

農福連携について

藤田 宜三 議員
(新政みえ/
鈴鹿市選出)



問

三重県では、「一
般社団法人三重県障
がい者就農促進協議会」が
中心となり、県と連携して、
農福連携全国サミットの開
催や⑤農業ジョブトレーナー
の育成など、農福連携の推
進を図ってきました。しか
し、同協議会の財政的基盤
は脆弱であり、財政的支援
も必要ではないかと考えま
すが、農福連携の今後の推
進体制の充実について県の
考えをお聞かせください。

答

障がい者が農業分
野で活躍の場を広げ
ていくうえで、福祉事業者
の農業参入に加え、農作業
を福祉事業所に委託する「施
設外就労」を進めることが
必要です。このため、地域
の障がい者支援組織や農協
などが参画する体制を新た
に構築しながら、より広
りをもつ
て農福連
携が進む
よう取り
組んでい
きます。



農業ジョブトレーナー育成研修の様子

その他の質問事項
○もつかる農業について
○外国につながる子供たちの
就学前支援
教室について
ほか



▲一般質問
(藤田宜三 議員)

障がい者の親亡き後の問題について

小林 正人 議員
(自由民主党県議団/
鈴鹿市選出)



問

知的障がいのある
子を持つ親にとつ
て、自分が亡くなった後の
不安はたいへん大きく、そ
の不安には、日常生活の見
守りに対する不安、本人の
自立した将来像が描けない
ことへの不安、本人の権利
擁護に対する不安と、大き
く3点が挙げられます。そ
こで、これらの不安に対す
る解決策や取り組み、知的
障がい者の親亡き後の支援
策について県の考えをお聞
かせください。

答

障がい者が必要な
支援を受けながら、
地域で安心して自立した生
活ができ、障がいのある子
を持つ親の不安が少しでも
解消されるよう、グループ
ホームの整備や障がい者の
権利擁護の取
り組みに加
え、障害福祉
サービスや相
談支援体制の
充実などに、
総合的に取り
組んでまいります。



その他の質問事項
○子どもの貧困対策について
○鈴鹿の海岸
堤防等の整
備について
ほか



▲一般質問
(小林正人 議員)